



東園集

79
3736



79
3736
3736
卷

天生齋一紙著

卷
三
生
齋

葉蘭平種

二編

全

昭和九年
十月八日
購求

文

文と天地陰陽此和合と本に

一して此亦文と此出生成行一為の

一してのらそ鶴は花張一とそむ耐ハ

すく中庸のまじ合々此風情成

まむなるに主位客位自然此類ハ

何んが一其自然と云々練ハ

おのり一始ふとそ行をそれハ

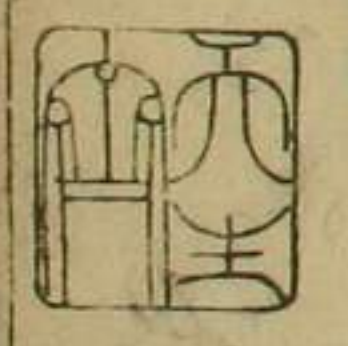
其流義ハ如何と御成と如何と校ハ

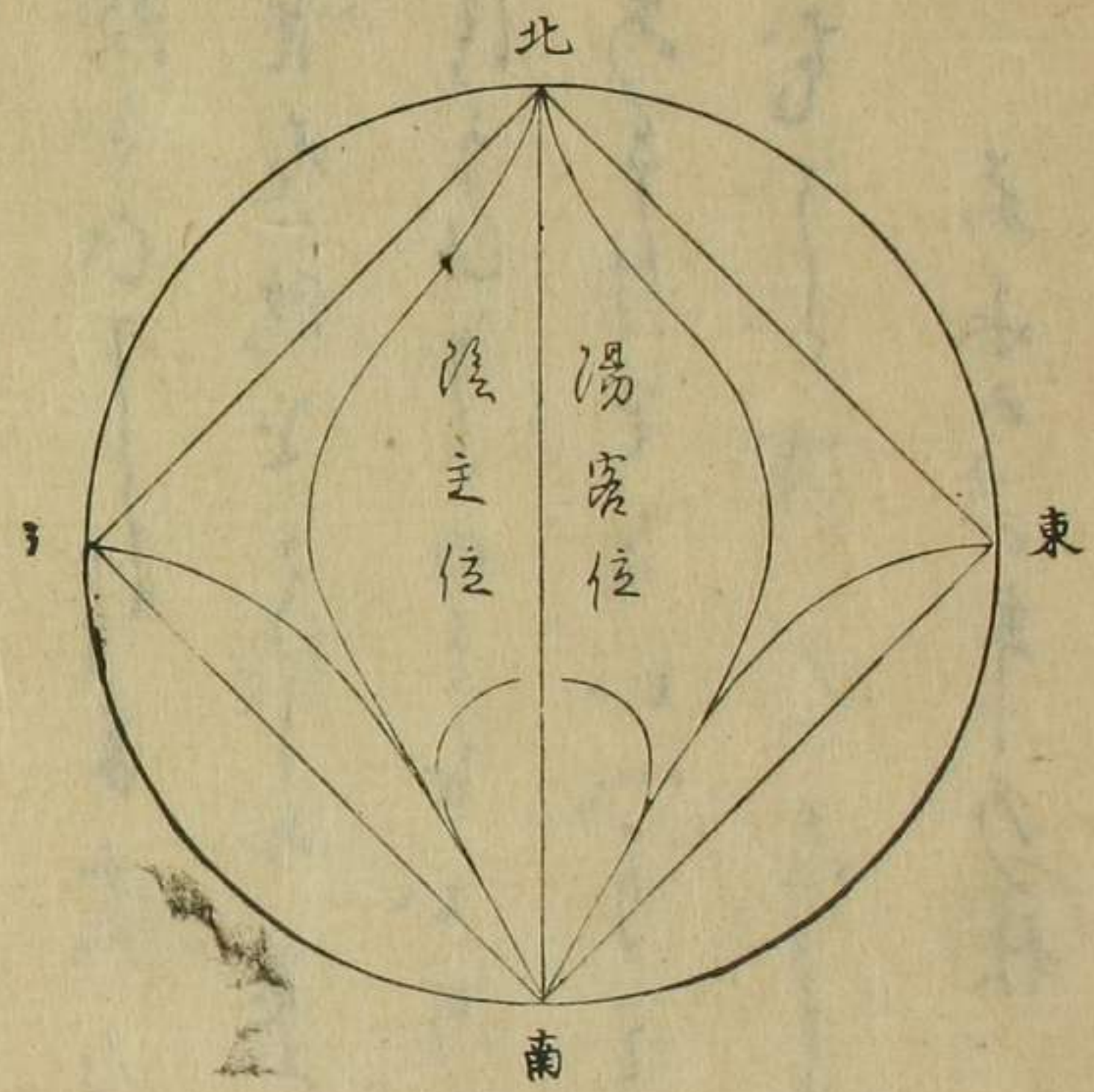
去短を多しをりやと爲 瓶花に於
 けり何ひしく法陽の伎とされたり
 当流の本とともなるなり 亦あしきハ
 已季抄く小渚子集りく馬蘭の
 會とて挿並へたる 瓶花中にすくと
 ぬれと二三瓶花寫しとててのりく
 初心に多しりもなるとかんに馬蘭
 の引指二纏りて草菴に瓶花とて成

序二

様本にのけせし社中此遊多
 教とひり利ま盡の法ともまきす
 唯花形とくしめ表裏法陽の
 ほろひしとのとふのれは 抄免く人の
 あきけをといりまは久しき代り
 むしと成りたり侍り也

嘉永六年の秋 天生齋一沓





天圓地方合形
 花形鱗之起源

馬蘭成儀心花の産分を分の産むがうちにして葉葉よりけりて
 一ツの葉を以て葉を採りて見者一き時りありて能く産むゆき
 とりて皆時瓶に養ひて産て取採て一葉を以て養ひて一葉を以て
 葉のまゝとりて何つひかききりてのなり也

すゝ虫食採りて

葉のぬちと葉を

とまひ産分目之

ざる指に用ひ格

遣ふ葉の如く葉の縁を

たり採ひて用ひ

はく半の枚に入一ははみすみの入方也



用 たり採ひて
 廿如く産分を以て採りて縁を

馬蘭の中かひ方、

根茂入並い、極きひまくなり
葉のよも能なり、色はやせなる

りのろく、色すく葉に酒成お

一敷板茂めに入並、翌日、

酒成く、ゆき、たて

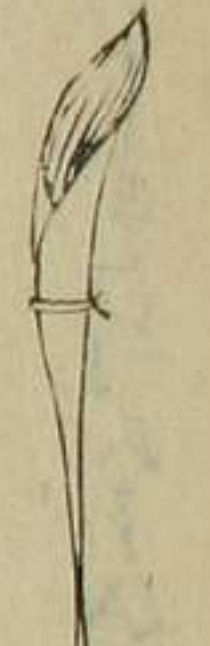
ふふも、く、ま、く、水、紙、下、ケ、く、く、ま、り、と、ふ、葉、も

右の如く、く、ま、て、酒、に、入、並、を、茎、葉、も、ほ、く、く、り

く、組、入、も、る、附、も、下、は、若、の、如、く、竹、ま、ん、う、も、組、合、系、成、か、け、酒、に

入、並、を、能、成、の、付、も、の、た、り、を、於、く、株、と、合、組、入、に、も、る、附、ハ、平、其、教、に、く、入、へ

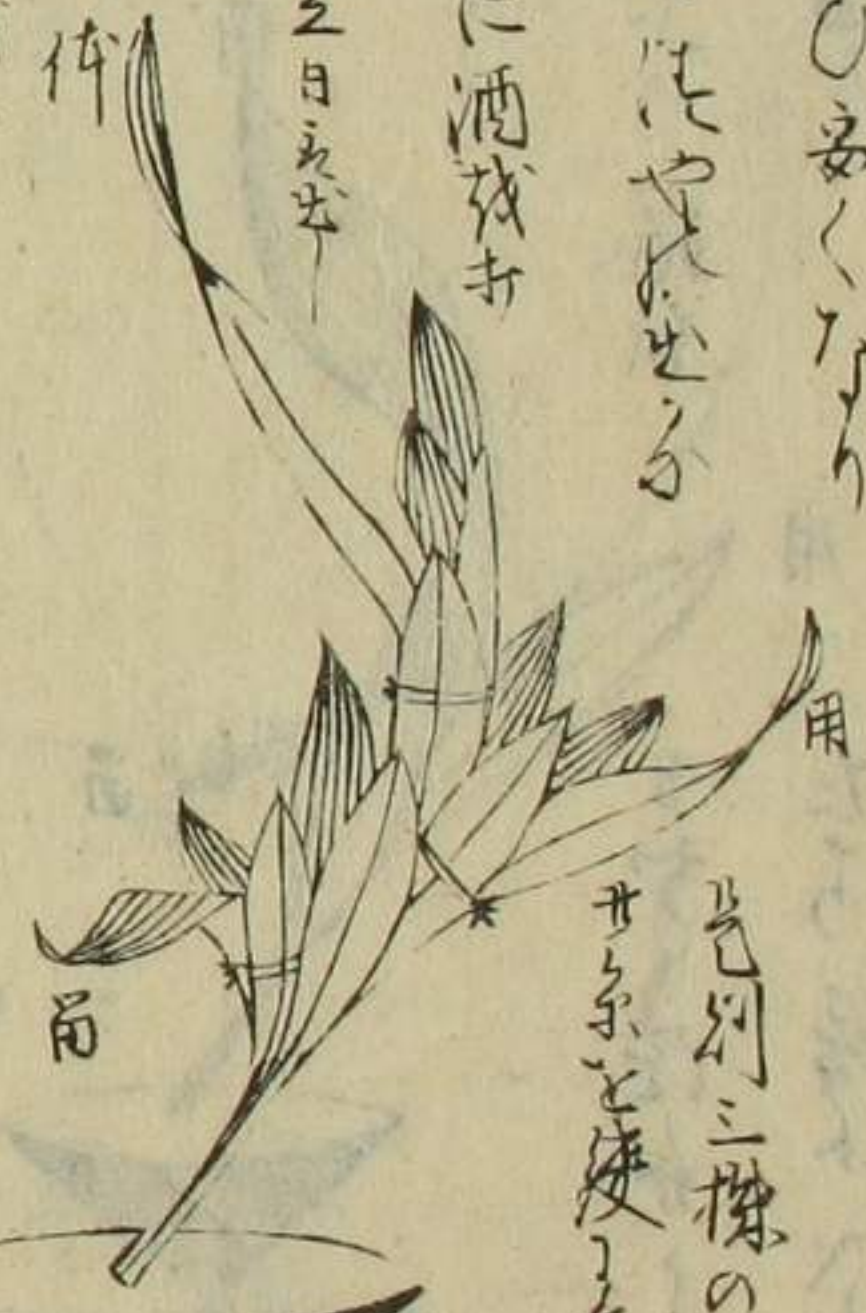
二、株、を、ま、う、ら、ん、二、株、も、五、株、七、株、五、株、と、湯、の、株、に、分、く、入、並、



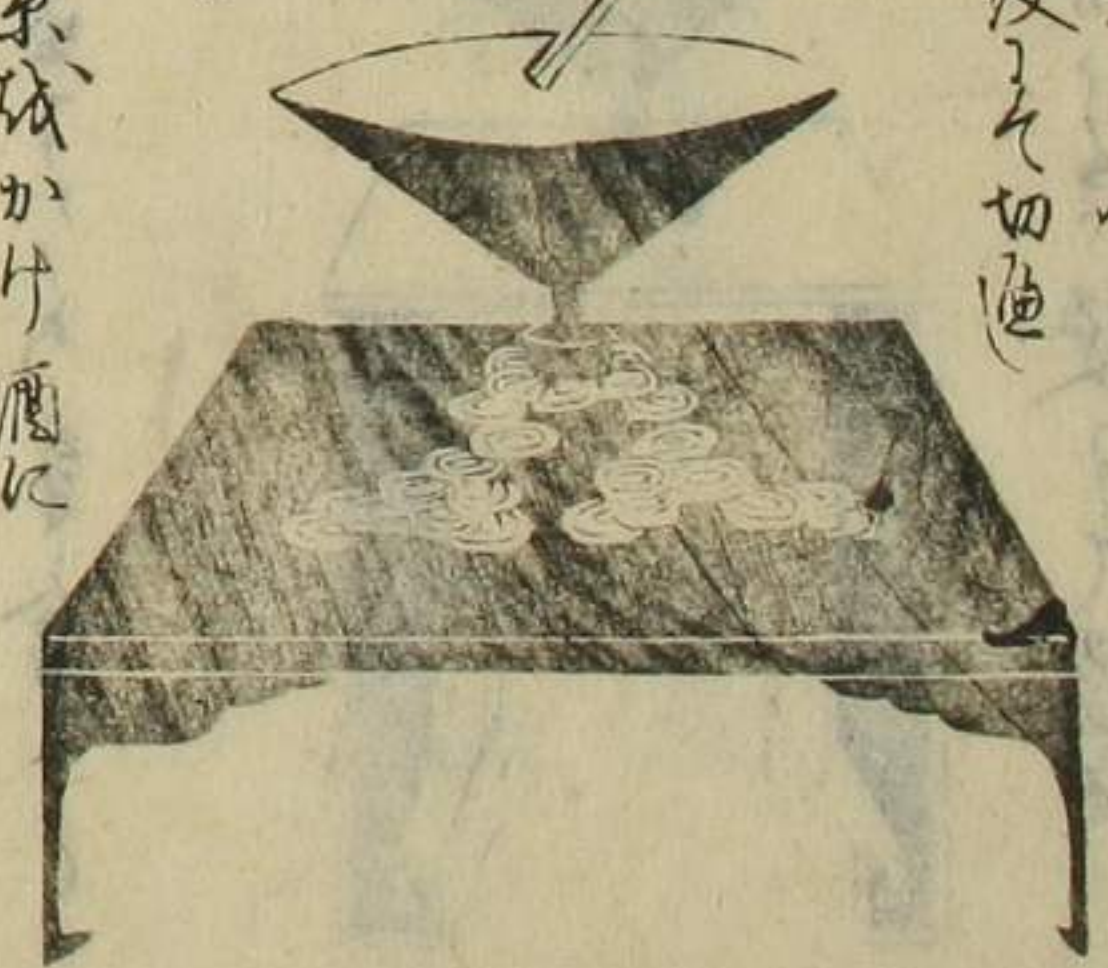
用

是、別、三、株、の、合、方、

其、系、と、使、く、切、通、



局



針葉三本、く、ま、ん、の、く、ゆ、く、て、堂、中、此、入、方

馬蘭の、出、生、ハ、地、中、に、て、く、ま、ん

あり、て、其、中、に、り、地、上、

成、ま、れ、上、ハ、九、五、の、二、ま、ん、

か、り、友、先、ま、ま、ん、此、の、世、

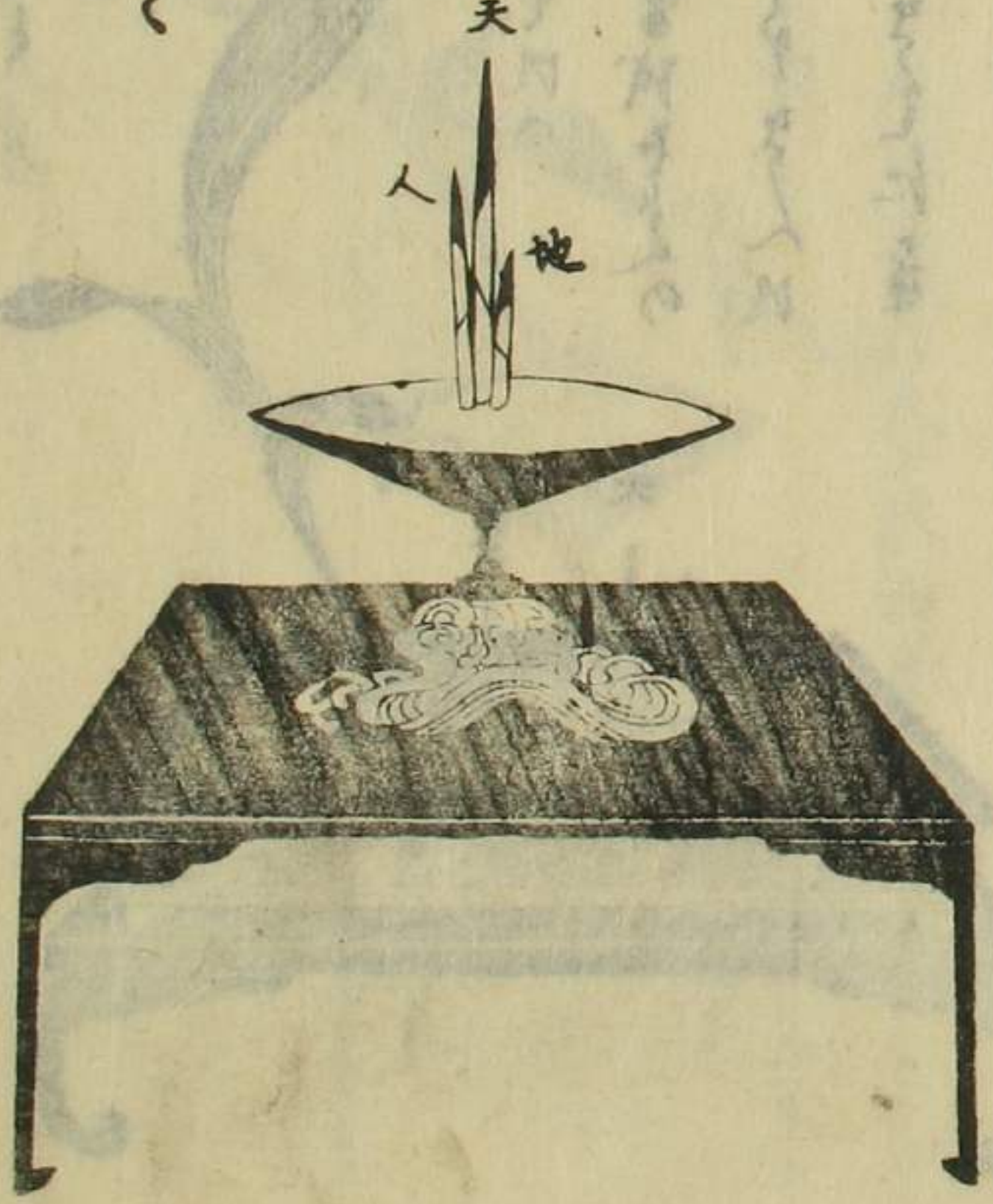
人、く、ふ、た、れ、も、若、葉、の、附、

も、本、入、り、も、三、ま、ん、と、そ

ゆ、く、三、本、な、れ、ハ、九、ま、ん、の、ま、

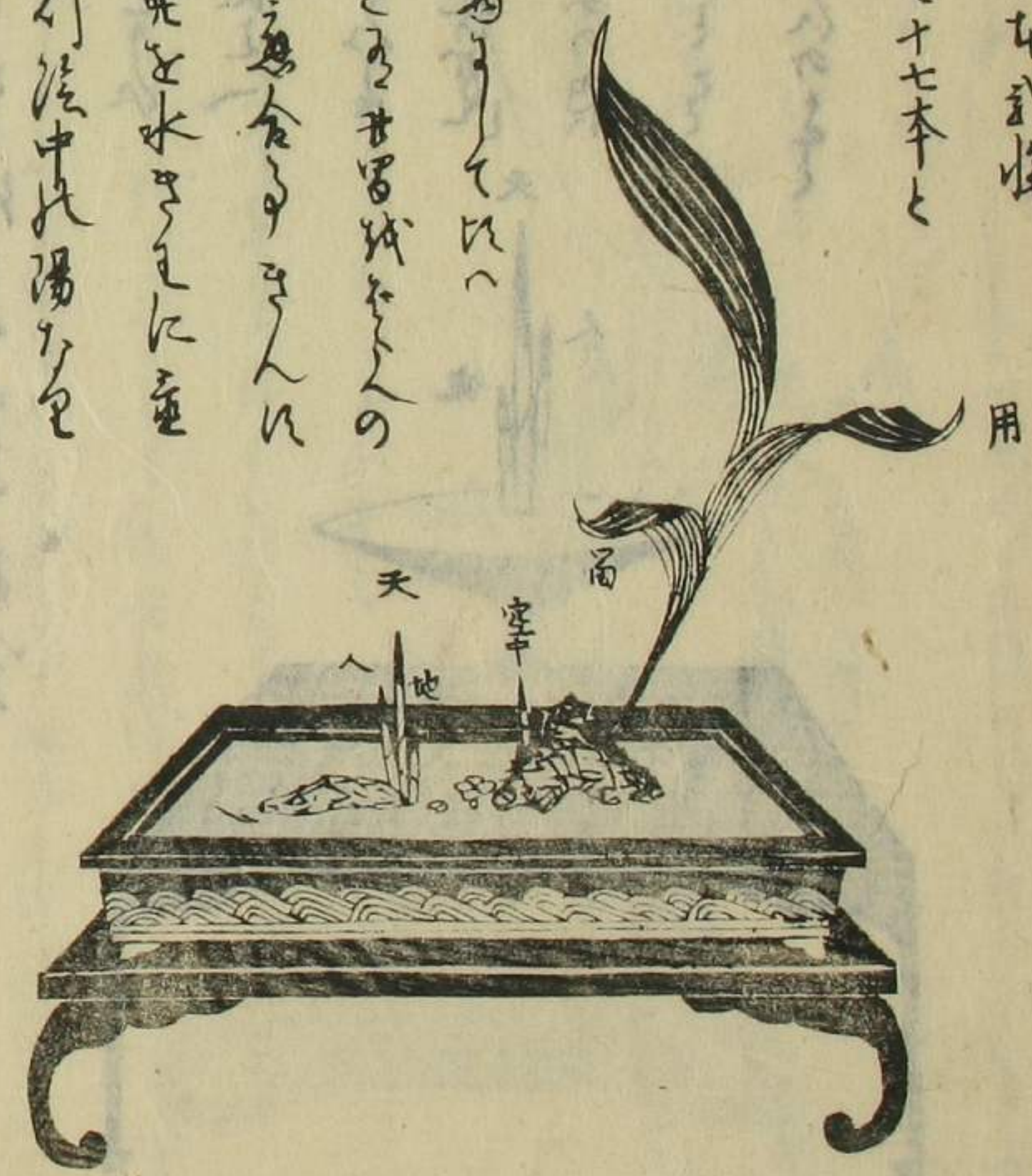
初、り、也、

天
地
人

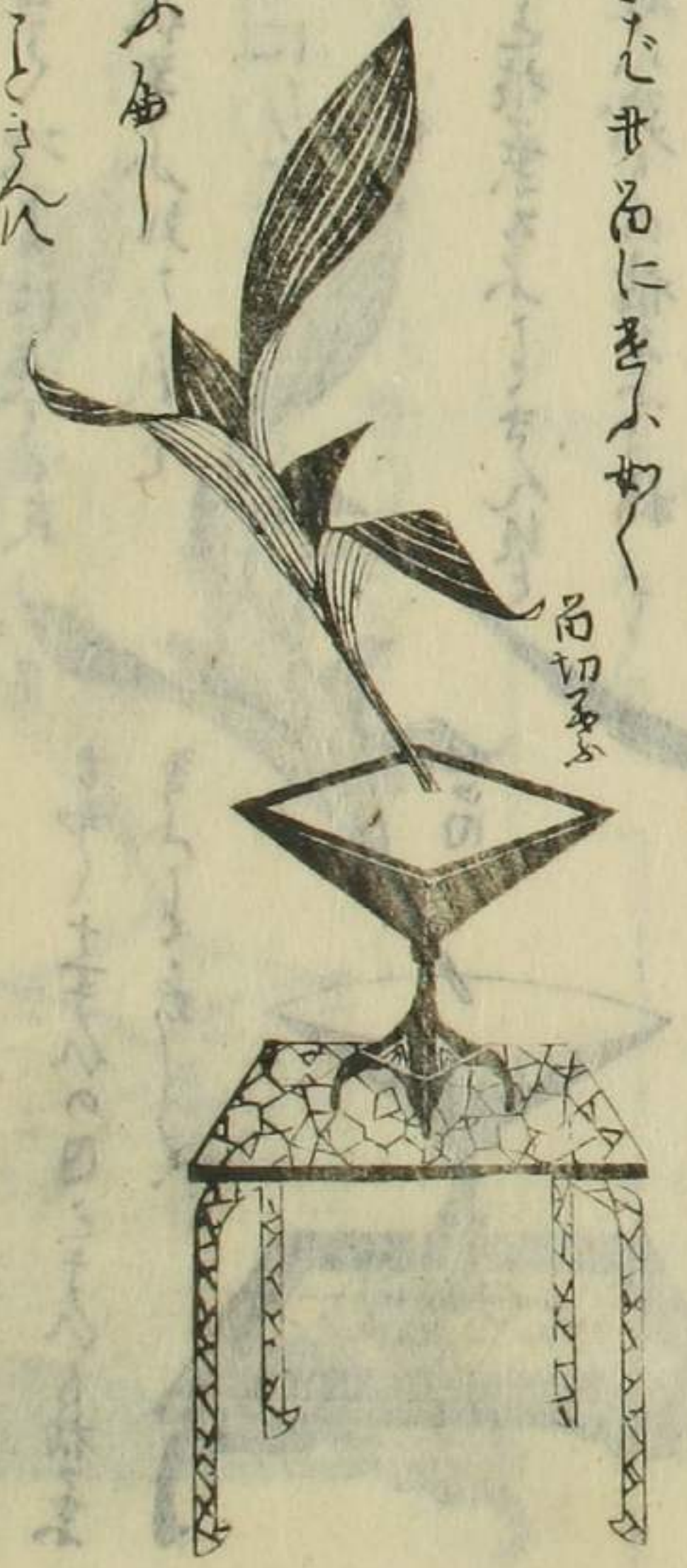


大葉のふし葉四本を裁断
 於合九本此合方九十九本と
 心た〜

人の肌を以て用
 之厚く合ふに厚く合ふと其旨味を人の
 命と云く余の命と合ふと人の
 命と合ふと合ふ時に元と水とを合ふに
 合ふ水中に入ると別法中此湯を合



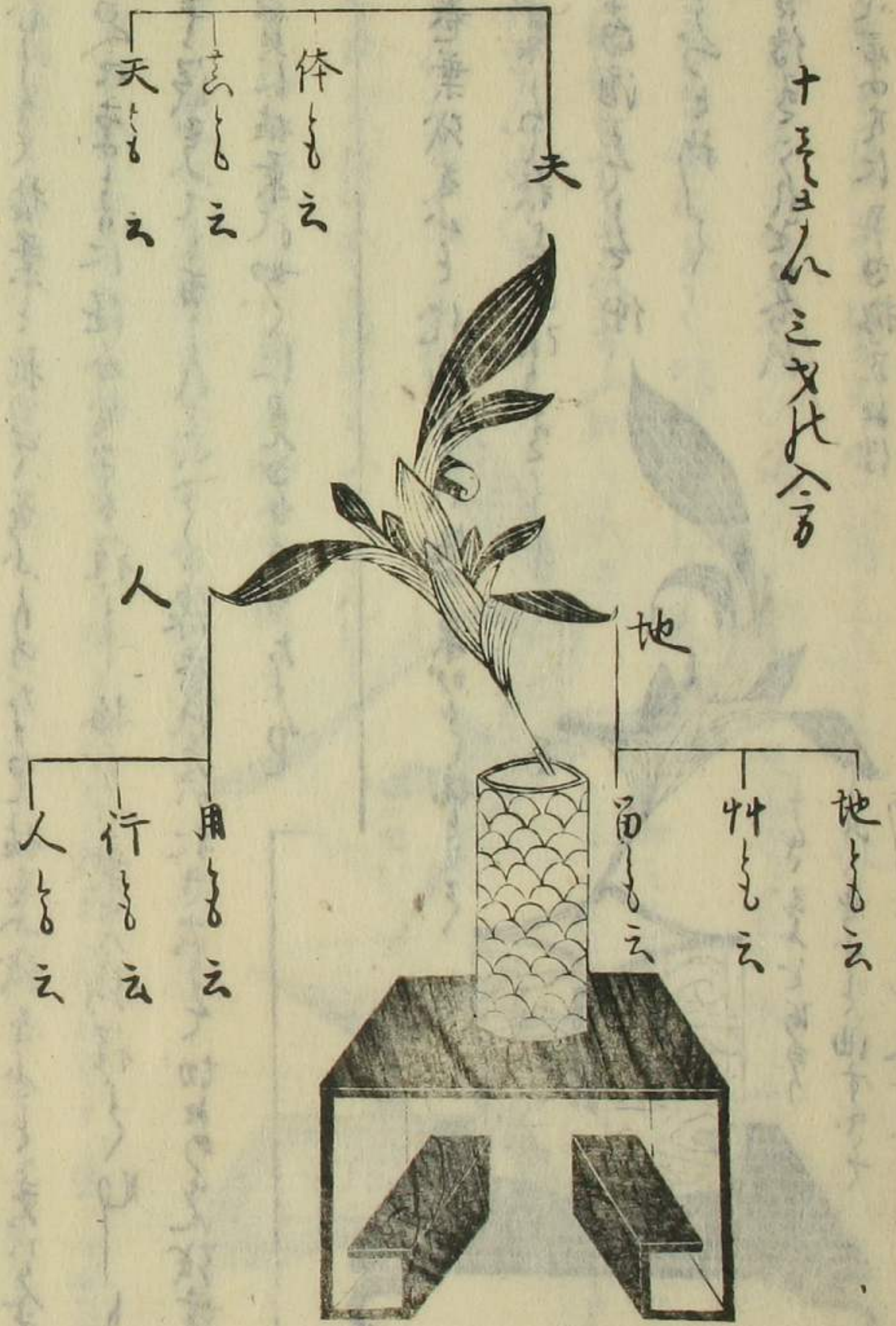
みずの切葉とをきふ方あり
 馬蘭とみずの六月とにその葉を折して人の肌を以て七月
 十月の末とに折葉とをきふと人の命に大小れ相合なく〜
 携ひの〜けきたる品にきふ〜
 葉の糸と
 切葉にして体
 何れも用いた
 貝〜と根にきふ〜
 切葉へ入りの〜
 切葉の成文〜
 二つ〜



十のうゝの三の女の方

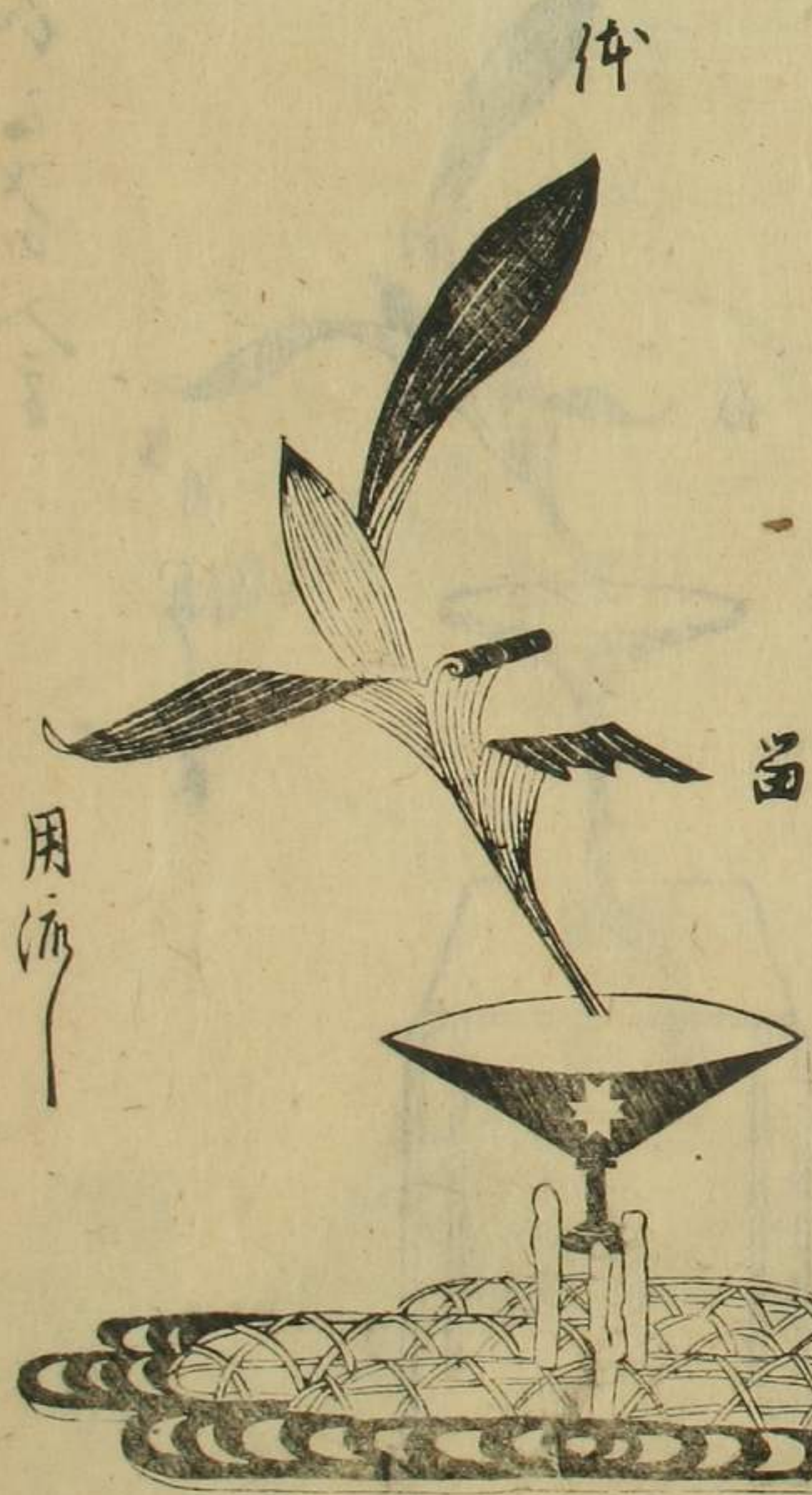


十のうゝの三の女の方



12

五子ん之子んの拵万



件

苗

用流

又

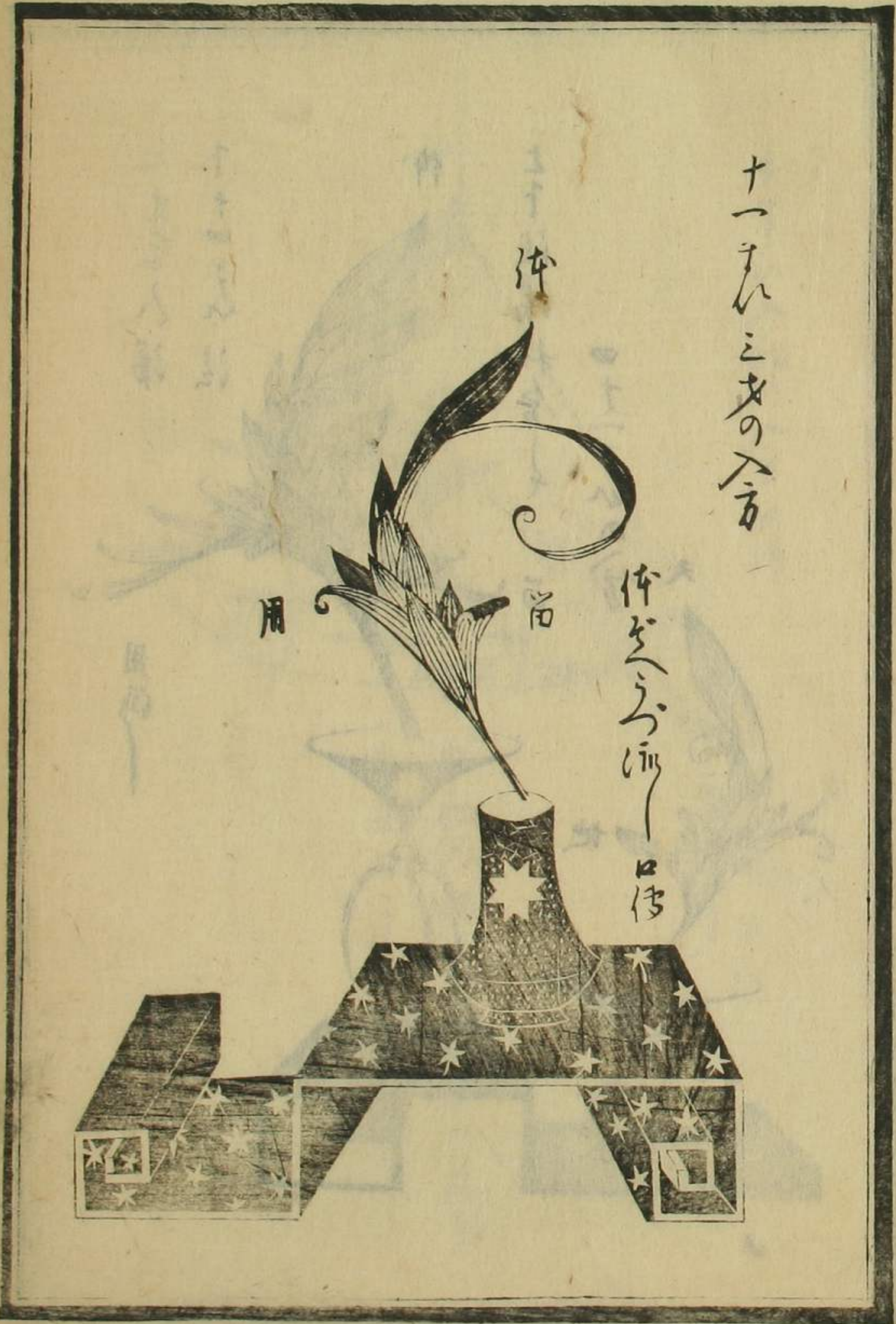
九子ん之子んのせ方



件

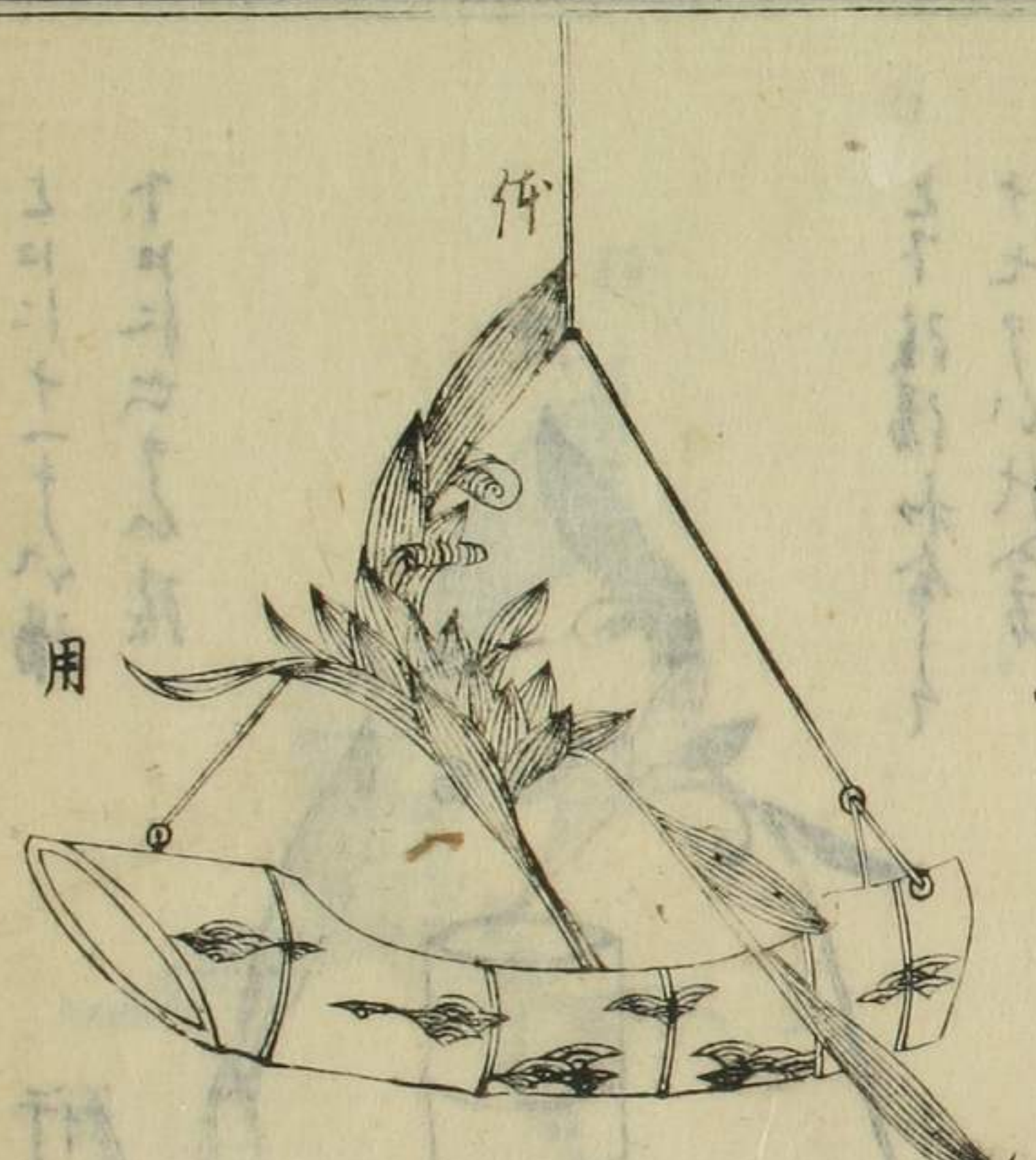
苗

用流



六





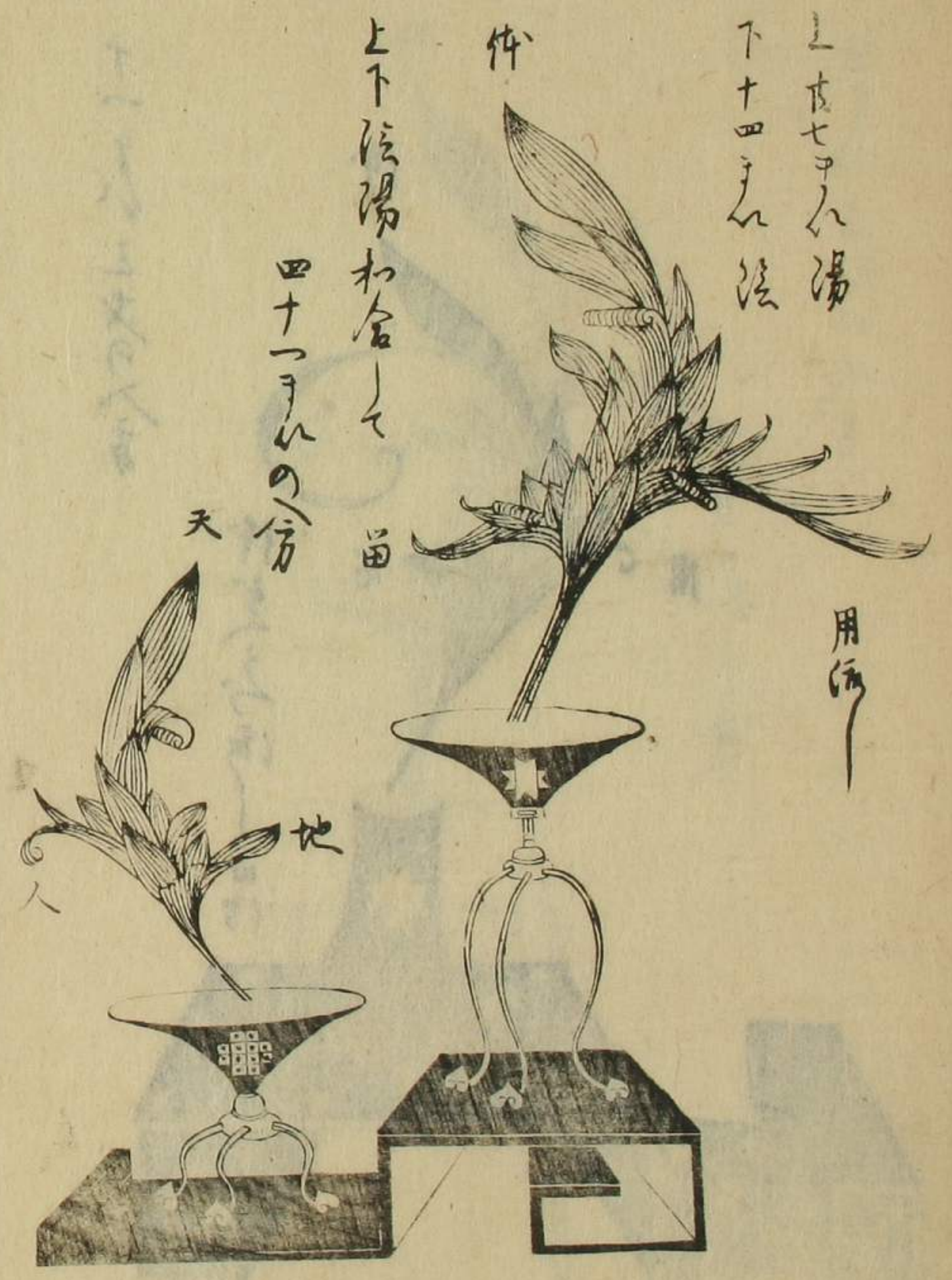
廿三入船の入り口

用

出船入船も挿方ハ悦む
樽むのこころそへる

面

七



上七入湯
下十四入湯

上下法湯相合して

四十一入の方

天

地

用

七寸の入り



用紙

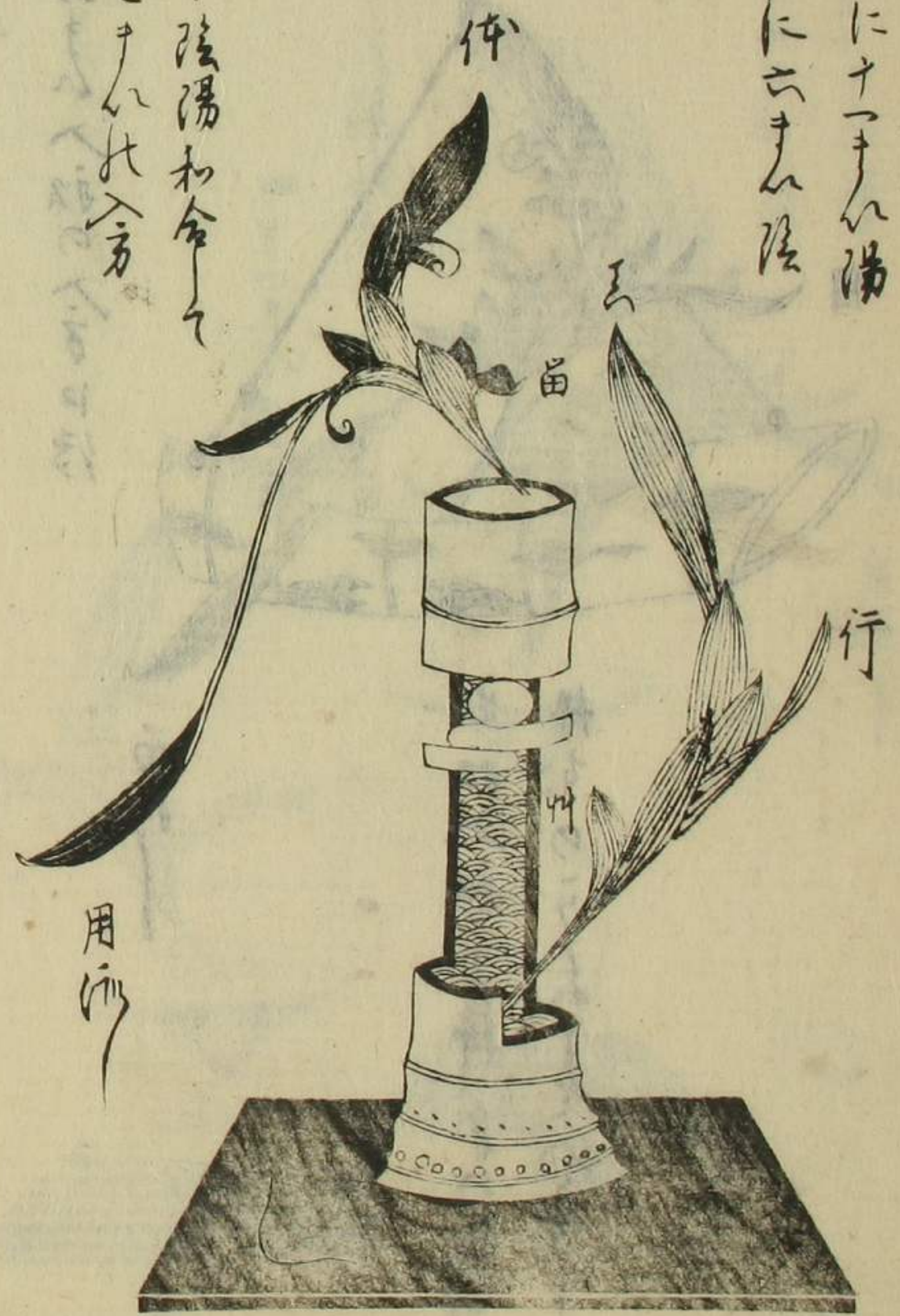
件

苗

八

上口に十寸の湯
下に六寸の湯

上下強湯和命々
十七寸の入り方



用紙

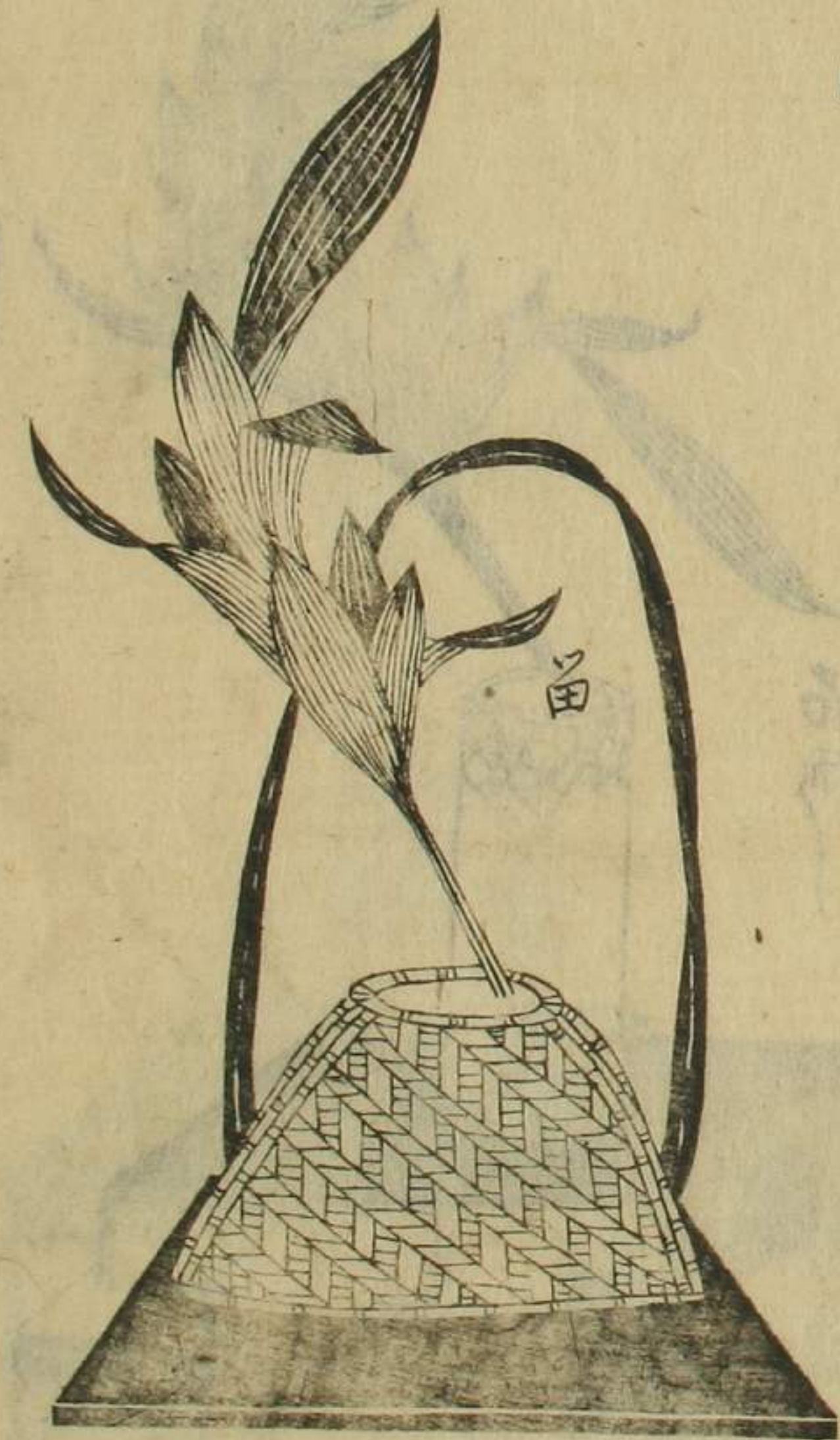
件

苗

行

九寸の菟此入方は傳

傳



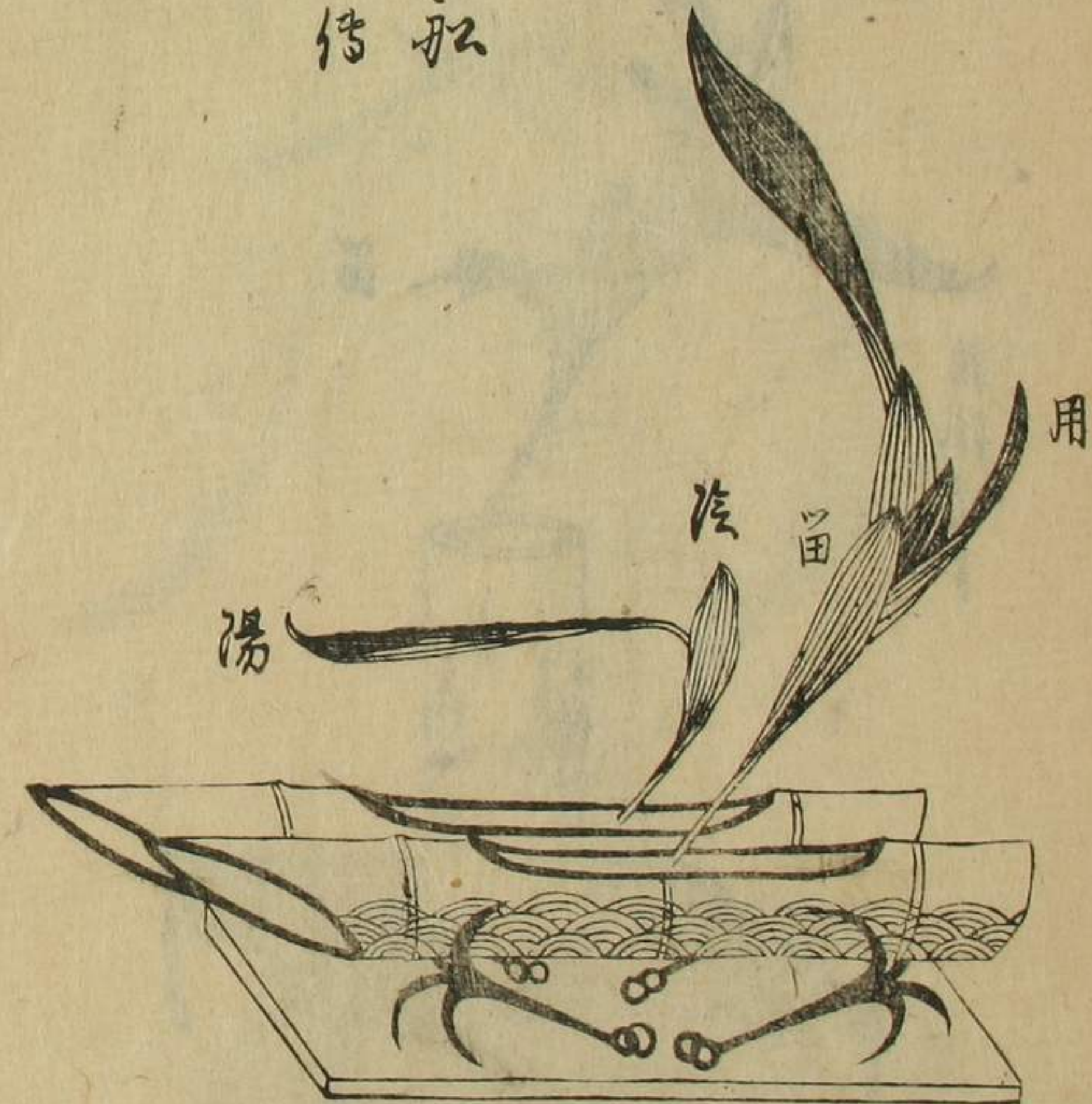
用

九

湯の取にあまの
陰の取に武まの

傳

法湯和合並取
七寸の此入方は傳



用

傳

傳

湯

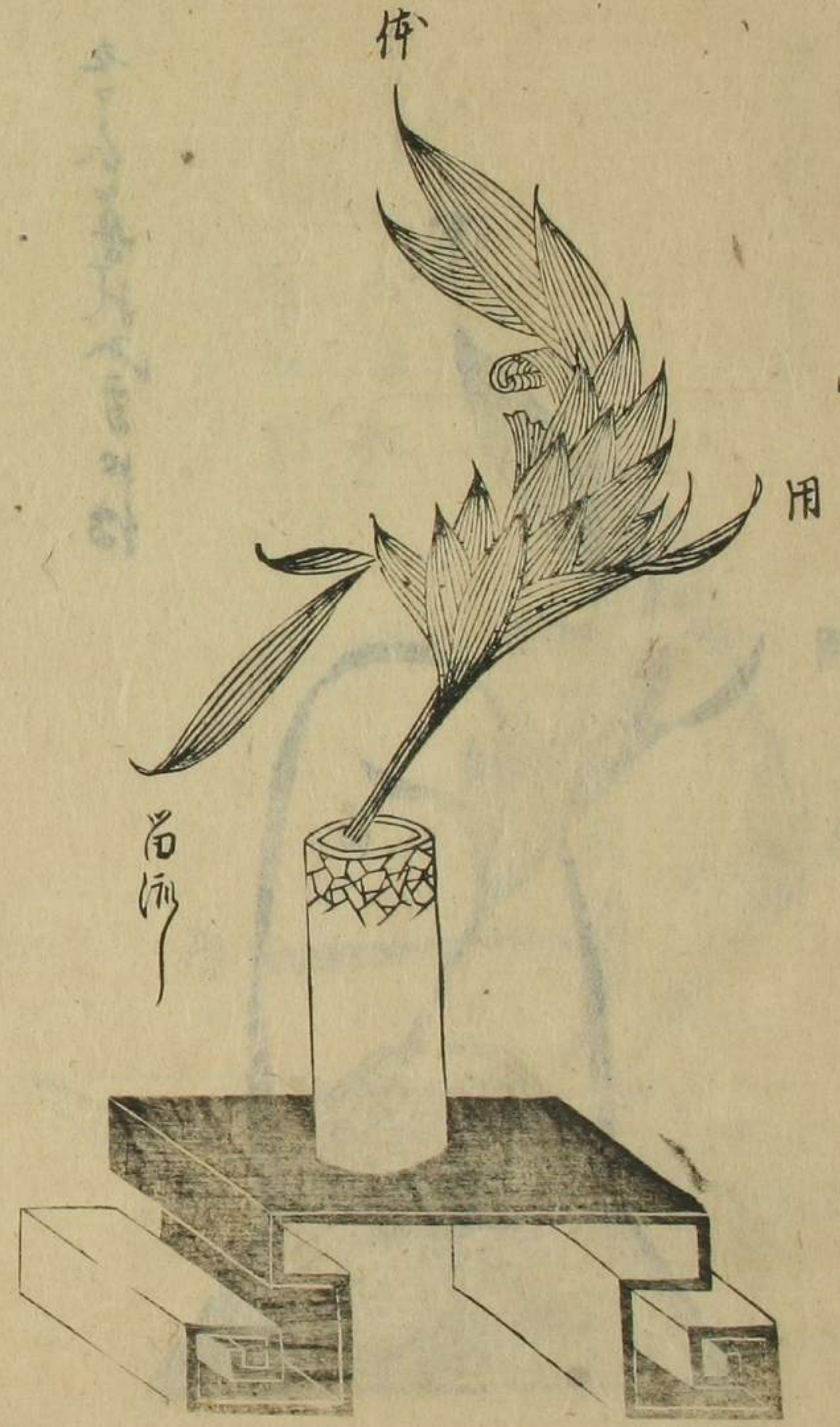
花の入れ方



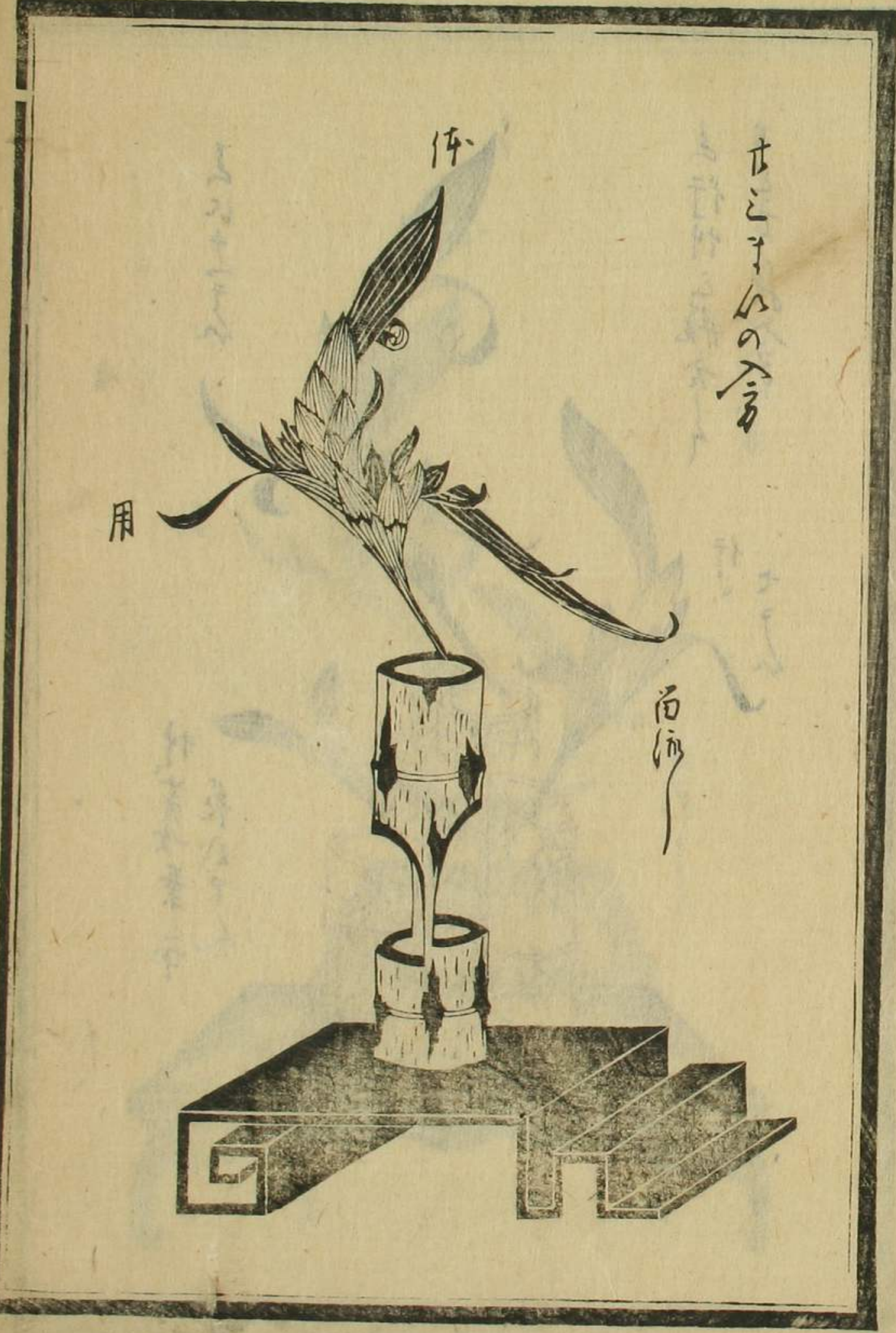
十一月の入れ方

花の入れ方

十



十二月の入れ方



十五寸の筒に挿す用の



十九寸の此の方

竹筒用

竹

筒

十七

十一寸の此の方



竹

筒

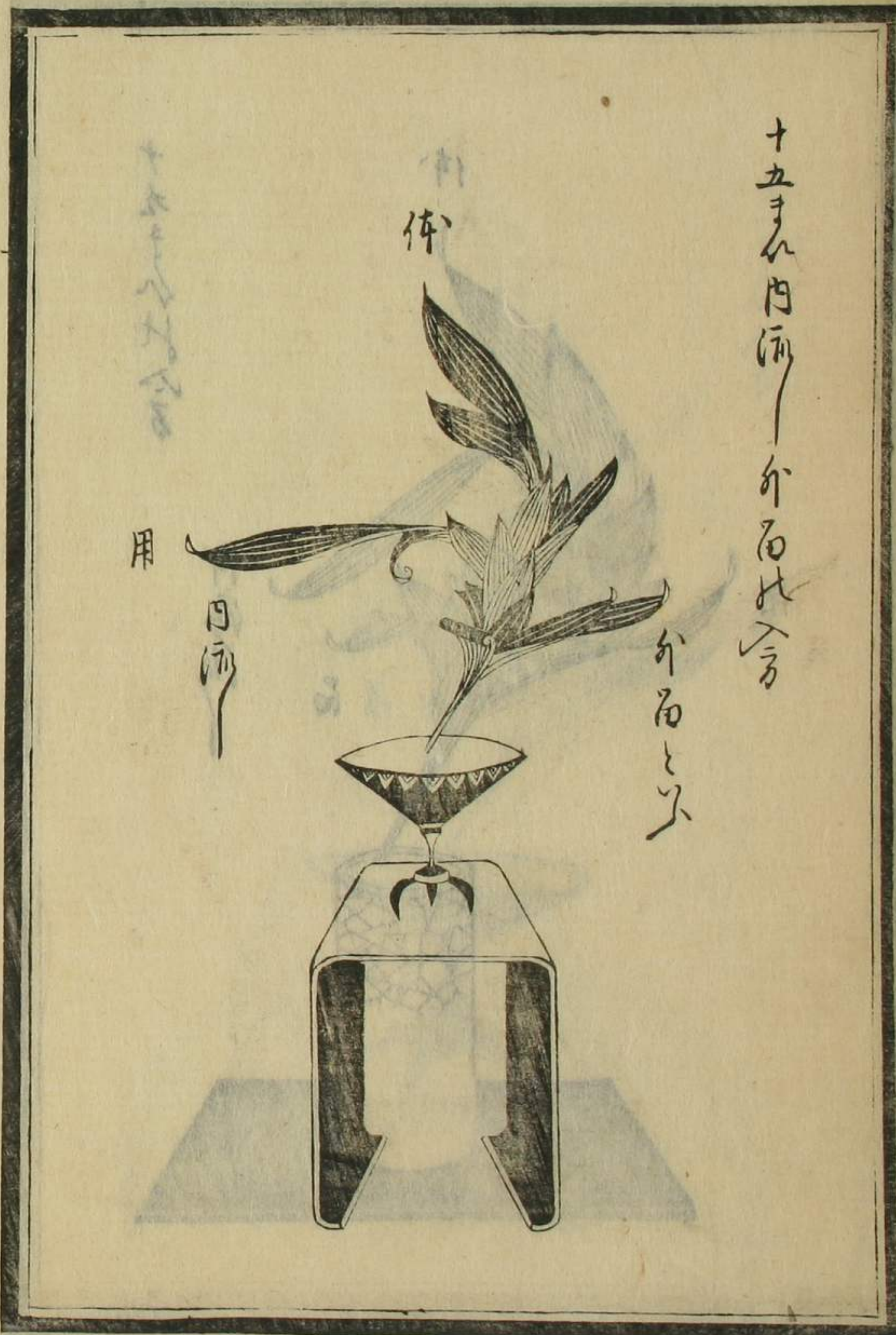
用



此如く五瓶とも湯敷に
 後敷湯敷と余ハ武瓶
 今も瓶の三之

大正十一年

十五



十五寸内酒一介石此方

介石と下



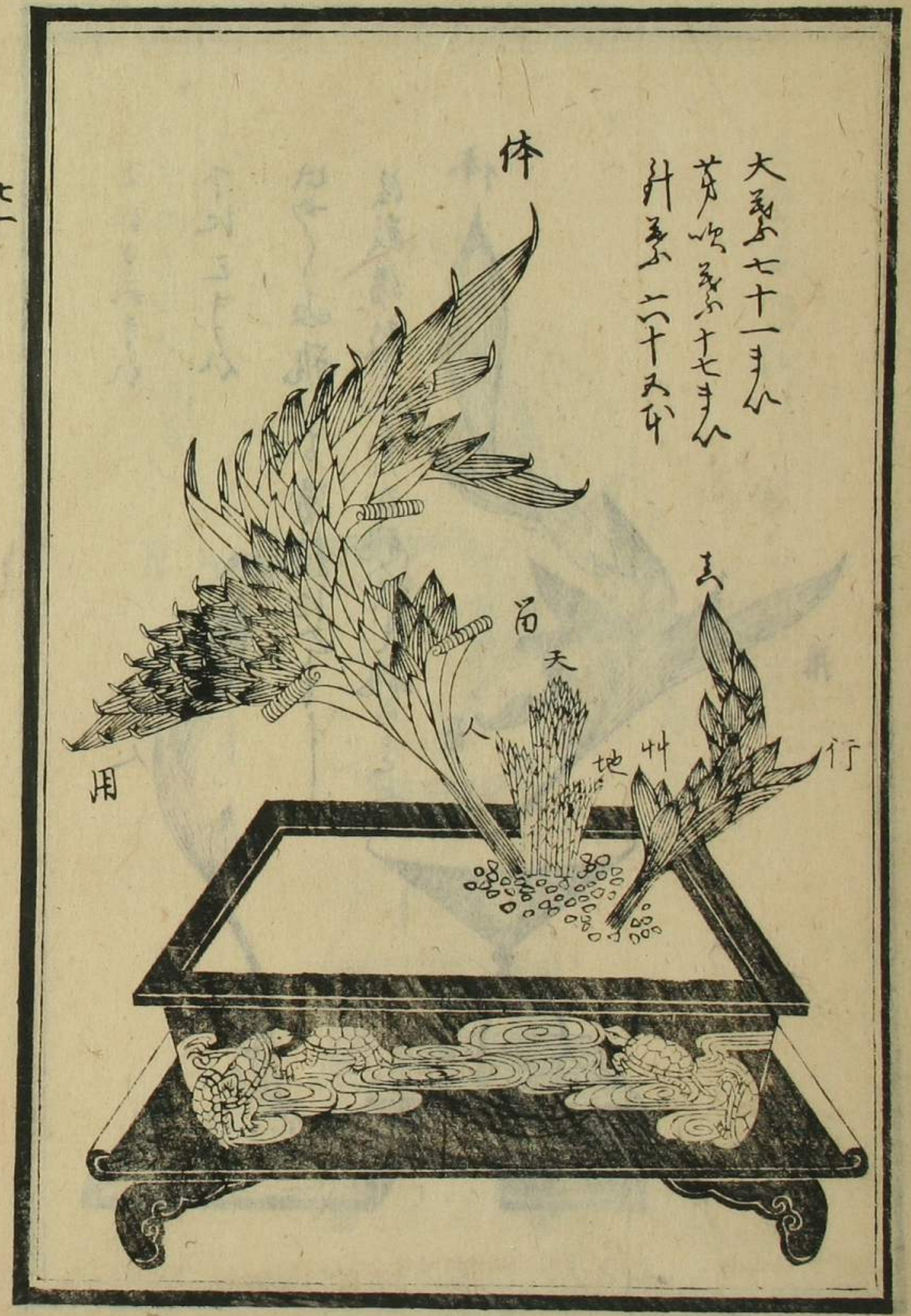
三株合して
二百四十七寸

上八十七寸

中九十一寸

下六十七寸

十一



大鳥五七十一寸
其吹鳥五十七寸
并鳥五二十五寸

体

眉天

去

地

行

用

六二後

浪花

中庸三
生流象九

天生齋藏板

中島氏所藏



Handwritten notes in the bottom left corner of the left page.

